

会 議 議 事 録

| | |
|---------|--|
| 1 会議名 | 平成27年度長岡市男女共同参画審議会 |
| 2 開催日時 | 平成27年8月27日(木曜日) 午後3時00分から午後4時30分まで |
| 3 開催場所 | アオーレ長岡 第1、第2協働ルーム |
| 4 出席者名 | <p>【委員11名】</p> <p>青木 仁 石川 伊織 稲田 育彦 黒岩 海映 小林 守 櫻井 真理 高橋 聡 樋熊 憲子 福田 和美 米山 宗久 鷲尾 達雄</p> <p>【事務局4名】</p> <p>広瀬市民部長 栗林男女共同参画推進担当課長 堀川男女共同参画推進担当係長 根津主事</p> <p>他に関係課職員17名が同席した</p> |
| 5 欠席者名 | <p>【委員1名】</p> <p>小林 友子</p> |
| 6 議題 | <p>(1) 長岡市男女共同参画審議会について</p> <p>(2) 第2次ながおか男女共同参画基本計画について</p> <p>(3) その他</p> |
| 7 審議の内容 | |
| 発言者 | 議 事 内 容 |
| 市民部長 | <p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>本日は、お忙しいところ審議会に出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>就任に対し、御礼申し上げます。本審議会は、男女共同参画の重要施策について審議していただくため、条例に基づき設置しているものです。任期は2年間だが、来年度は第2次ながおか男女共同参画基本計画の10年間の計画期間の前期5年目にあたり、中間見直しの年となります。後期5年間の計画がより充実したものとなるよう、委員の皆様からのお力添えをお願いいたします。</p> <p>本日は、本審議会の役割、男女共同参画基本計画の推進状況について説明・報告し、皆様から自由闊達な議論をお願いいたします。</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>3 自己紹介</p> <p>4 議 題</p> <p>(1) 長岡市男女共同参画審議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長の選出・・・条例施行規則第8条の規定による委員の互選により、会長は石川委員、副会長は樋熊委員に決定。 ・会長・副会長あいさつ ・長岡市男女共同参画審議会の役割・・・事務局説明(資料 1) ・苦情処理制度・・・事務局説明(資料 1、2) <p>(2) 第2次ながおか男女共同参画基本計画について(資料 3~6-2)</p> |
| <p>会長</p> | <p>今回はあらかじめ委員の皆さんから資料をご覧いただき、質問意見をいただいているので、さっそく担当課からの回答に入りたい。なお、時間の都合上、事業 に丸印をつけたものを具体的に口頭で回答いただくこととしたい。</p> |
| <p>保育課</p> | <p>(資料 5、事業 7【幼児への男女共同参画学習】について)</p> <p>全国的な保育士不足の状況等もある中で、通常保育をしている保育士が、保育時間を離れて研修に参加することがなかなか難しい状況がある。近年、園長 OB を各園に派遣する形で、園力を上げるためのスキルアップ研修を行っている。その際に保育室を担当する職員に対して、保育の基本、あるいは難しさを増している保護者対応、配慮を要する子どもを含めた言葉かけなどを、経験豊かな保育士 OB から講義していただく中で保育関係職員の意識を高めていく内容になっている。</p> <p>近年、通常の保育活動の中でもごく自然な形で、男女平等の意識というものができあがってきているので、自然に関わり方や言葉かけなどを通した中で意識を深めるという形で研修や講座を実施しているところである。</p> |
| <p>保育課</p> | <p>(資料 5、事業 8【幼稚園・保育園の保護者を対象とした男女共同参画の意識啓発】について)</p> <p>教育委員会で実施している「熱中・感動・夢づくり教育」という大きな事業の中の一つとして、幼児家庭教育講座というものを実施している。その中で保護者への子育てアドバイス、あるいは小さい頃からの性教育などの講座、これは各園の保護者会等を通じて講師の派遣等を要望する場合にその経費を</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>補助するという形で行政が支援しているものである。こうした取組の中で自然な形で保護者の意識を高めている。</p> <p>近年、家庭における教育力が低下しているということから、子育てや自分の子どもとの関わり方そのものについても、経験豊かな講師による講座を実施する中で男女共同参画意識の啓発に努めているところである。</p> <p>取組による結果が見えてくるのは大変良いことだが、子どもが変わってくると親御さんの変化にもつながるので、今後も園内における取組を継続していただきたいと思う。</p> |
| 委員 | <p>実際に、保育士の養成をしている大学の方を見てみると、今でも3歳までは母親が育てるべきだというような授業が行われていたりする。従って、実はどういう研修を受けているのかによっては、男女共同参画に逆行する可能性があるということが心配されるので、どのような研修をどのように具体的に実施したのかという報告を求めたのが質問の意図だった。</p> <p>研修等を何回実施して何人参加したのかという数値も大切だが、何をどのように行い、それにより参加者がどのくらい変わったのかという点にまで踏み込んでいただくことが望ましい。全分野の事業について、そうした観点からの報告をお願いしたい。</p> |
| 事務局 | <p>(資料 5、事業 15【事業所などでの女性の参画促進】について)</p> <p>県のハッピー・パートナー事業については、長岡市としても事業の周知・登録促進等に協力しており、市内企業の取組の実態についても随時県と情報共有をはかっている。</p> <p>市では毎年ハッピー・パートナー登録企業パネル展を開催しており、今年度は積極的に取り組んでいる29の企業・団体からパネルを作成・展示に参加いただいた。アオーレ長岡や市民センターのほか、各種講演会や就職ガイダンス等の場でパネルを展示し、幅広くその取り組みを周知PRすることで、一生懸命頑張っている企業とあまり取組に積極的でない企業との差別化を図っているところである。</p> |
| 委員 | <p>就職活動をしていた学生の話で、ハッピー・パートナー企業に登録しているが、その実態はブラックだったということがあった。そういったことはあってはいけないと思うが、実際には県の事業なので、長岡市では今ほどの説明にあるように、特に頑張っている企業を推奨していただくという形で差別化を図っていただきたいと思う。</p> |

| | |
|---------------|---|
| <p>子ども家庭課</p> | <p>(資料 5、事業 21【妊娠・出産期における健康支援】について)</p> <p>受け付けた相談について特筆すべき事例として、実家等の支援が得られないといったことや、孤独な環境の中で子育てしなければならないといったようなこと、精神的に問題を抱えている方からの相談等がある。</p> <p>具体的には、出産近くになって実家の支援が得られない、夫がうつ症状で会社を休みがちになっていて、どうしたらよいかと泣きながら電話をされてきたというケースがあった。状況確認のために保健師が訪問すると、出産準備等が全くできていないという状況だった。退院後の子育て支援が必要な状況もあるので、ご本人や夫から了解を得て医療機関に支援の依頼を行った。</p> <p>また、助産師と一緒に訪問する中で、一緒に出産準備を行って産後の生活について話し合いをしたり、退院直後には、沐浴や授乳の仕方を教える等の支援も行ったりして、子育てについての支援を継続してきたという事例があった。</p> |
| <p>子ども家庭課</p> | <p>(資料 5、事業 22【思春期・青少年相談】について)</p> <p>相談内容の特筆すべきものとしては、とある専門学校の女子学生からの相談で、メールを中心に年間 100 件を超えて相談が寄せられたというケースがあった。そのメールの中で、母親に対して自分を認めてほしいという主旨の記載があり、母親の愛情を求めるような内容であった。幼少期から母親の愛情に満たされないで育ってきたということで、心の成長面で課題を残しているような状況が伺えた。このようなメールの中でも、生死に関わるような相談があると、訪問や電話をして、より適切な対応に努めている。</p> <p>それから相談内容の公表については、『はぐくみ長岡』という広報誌を年 2 回発行しており、その中で街頭育成活動結果や相談業務実施結果を公表している。</p> |
| <p>子ども家庭課</p> | <p>(資料 5、事業 23【青少年育成活動】について)</p> <p>青少年育成活動として、駅で待ち合わせをしている高校生や、公共施設で勉強しているような子どもたちに対して声がけを行っている。特に問題行動があるわけではないが、「どこの学校に行っていて今何が楽しいの？」であるとか、「将来の職業は何を目指しているの？職業については男女は気にする必要はないよ」といったような声がけをして、大人が見守っているということを子どもたちに伝えている。</p> <p>それから、実際に育成活動に関わる人の研修については、今現在は青少年育成委員の方々の個々の判断に任せている状況である。青少年育成活動全体として、男女共同参画についての研修会というのも検討していく必要がある</p> |

| | |
|---------|--|
| 委員 | <p>と考えている。</p> <p>先日、警察のボランティアの方たちと、青少年育成活動をされている方たちと一緒に研修会をして、そのあと交流会があったのだが、社会背景等は個々の判断に任せるのではなく、今の社会情勢はどうであるかとか、このようなケースがあるとか、きちんとした視点で活動できるような情報をお互いに共有しないといけないのではないかと思う。その研修会には少年院の所長さんがおいでになり、オレオレ詐欺の受け子になった子どもたちが少年院に入っているという話をされた。そうした事例があることを、育成活動をされている方たちも勉強する必要があると思う。</p> |
| 会長 | <p>子どもの安全に関しては、最近犯罪がらみの事例があるが、他に意見等はないか。</p> |
| 委員 | <p>今、市P連では市内の全域でSNS対策の活動・運動をやるということまで動いている。LINE など、SNS が犯罪の背後にあると認識しており、学校でのいじめも深刻になっている。昔であれば夜9時以降は友だちの家に電話しないようにというような家庭の教育があったと思うが、今は子どもたちが勝手にSNSなどを通じて、夜遅くまでつながっていて、家の外には出ていないけれども深夜徘徊状態になっているということがかなりあるようだ。</p> <p>結局、学校側の苦慮は、家庭の問題にどこまで介入できるのかという部分だと思う。市P連の方でも強制力はないもののしっかりとルールを決めていこうと考えているが、行政としても、個人情報の壁はあると思うが、家庭環境等をある程度把握して何かあった時に警察や様々な諸団体と連携して動けるようにしていくことが大事ではないかと思う。</p> |
| 委員 | <p>子どもの成長というのは親からの影響が大きいのだろうが、今は親だけが頑張っただうにかなるといような簡単な状況ではないので、これからは親も学校も地域も行政も連携して問題に取り組んでいくことが望ましいと思う。</p> |
| 生涯学習文化課 | <p>(資料 5、事業 31【まちなかキャンパス長岡管理・運営事業】について)</p> <p>まちなかキャンパス長岡での各講座で男女共同参画の視点が反映されているものを挙げると、例えば平成 26 年度に企画した、「意外と人気者!? 話題のリケジョとして働く」というもので、リケジョを取り上げて企画したことがあった。また、私どもでは市民プロデュース事業ということで、一般の方</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>から企画を公募して講師になっていただいたり、講座の企画をしていただいたりという事業があるのだが、その事業が割と女性からの応募が多く、「女に生まれてよかった！講座」や「我が子の能力を引き出そう！マインドマップ de 子育てコーチング」という講座、「40代～50代女性向け『脱！マンネリコーディネートのコツ』教えます」講座など、そういったものを企画して開催をすすめている。また、その市民プロデュース事業は、私どもが予想していなかった成果がたくさん生まれており、一番大きなものとして、講座の後にサークルが立ち上がり、まちなかキャンパスを拠点に定期的に活動をされるという場合がたくさんあり、そちらが本事業の魅力であるかなと思っている。</p> <p>また、こちらのサービスで、子育て中の女性も安心して受講できるよう、6カ月から就学前の子どもの無料保育サービスを行っている。ただ、こちらは皆さん遠慮されて、あまり申し込みがない状況であり、広報を大々的にしていくことと、実際の利用者の声を取り上げるなどして、広く気軽に受けられるようにすることが課題だと思っている。</p> <p>それから各種講座参加者の男女比については、平成25年度は男性58.1%、女性41.9%となっていたが、26年度では逆転して、男性が48.7%、女性が51.3%となっている。また、年代別に見ると大きなところで、30代が7.8%から12.6%に増加しており、俗に受講率が高いと言われている60代70代の割合が減少して現在は40代50代と60代70代の受講率が半々くらいの割合になっているので、こちらは良い傾向ではないかと考えている。</p> <p>委員 市民プロデュース事業の内容が良くて、参加するパーセンテージも高くなっていると思うので、是非とも活用してPRしてほしい。6カ月から就学前の子どもの無料保育サービスはもっともっとPRされると、お子さんを持つ親御さんが気軽に参加できるのではないかと思うので、よろしく願いしたい。</p> <p>委員 男女共同参画に関係ない行政部署というのはほとんどないのだが、しかし、特に、その施策を遂行する上でどの点を持って男女共同参画の問題を考えるのかであるとか、あるいはどういう点で女性の参加ないし男性の参加を促すのかとか、そういうことがあったら積極的に報告の中に反映いただければ非常に参考になるし、実際に相談事例等が既にたくさんあるのなら、そのことを書いていただいたらよろしいと思うので、具体的に積極的に報告していただけると非常に嬉しく思う。</p> <p>子ども家庭課 (資料 5、事業 34【こんにちは赤ちゃん訪問】について)</p> |
|--|--|

| | |
|--------|---|
| | <p>この事業の効果について大きなものを二つ挙げると、乳児家庭での孤立化防止と、虐待予防である。子育て家庭のさまざまな悩みや不安をお聞きして、必要な子育て情報を提供することで、安心して子育てができるように支援をしている。特に気軽に相談できて、お子さん同士の交流もあるということで、子育ての駅での情報共有というのが非常に喜ばれている。赤ちゃん訪問によって、さらに支援が必要である場合には、関係機関と連携を図りながら虐待の予防にも努めている。</p> <p>無戸籍赤ちゃんの対応については、医療機関等からの連絡で把握できた場合については通常の母子保健と同じような対応をとっている。</p> |
| 子ども家庭課 | <p>(資料 5、事業 35【ブックスタート事業】について)</p> <p>これは赤ちゃん相談会等と同時開催で行っているため、どうしてもお母さんの参加が多くなってしまおうのだが、最近ではお父さんの参加も増えてきている。お父さんが赤ちゃんと過ごす時間の大切さを伝え、親と子の絆づくりというものを進めている。また、お父さんが参加しやすい講座を土曜日に開催して、男性保育士による子育て講座を企画したところ非常に好評であった。</p> |
| 委員 | <p>男性の育児参加を促していくような事業を計画の中に入れていただいているようなので、これからもよろしく願いしたい。</p> |
| 保育課 | <p>(資料 5、事業 41【保育園における育児相談窓口の充実】について)</p> <p>保育園における育児相談窓口の充実ということで、今現在、公立 13 園、私立 20 園において、「地域子育て支援センター」という事業を行っている。入園前のお子さんをお持ちの方々から、子どもの発達発育状況であるとか、あるいはミルクの作り方・与え方、また今年度から保育園・幼稚園を含めた入園の制度が大きく変更になったため、そうした申込についての相談も受けているということで、地域の相談窓口として保育園が機能している事業である。</p> <p>近年、核家族化が進む中で、昔であればおじいちゃん、おばあちゃんに聞いて問題を解決するようなことも、身近に聞ける人がいなかったり、あるいはひとりで悩んだりというようなことを防ぐためにも、また仲間づくりという観点からも地域に開かれた保育園という機能として、こうした子育て支援事業を行っているところである。</p> |
| 委員 | <p>今年、入園申込方法が変わったが、それによってお母さんが働く時間を決めなければならないという辛さというか、困難があったりするようだが、そのあたりについてどのような相談があって、どのような回答をしたのかお聞</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>保育課</p> | <p>かせいいただきたい。</p> <p>新しく子ども子育て支援制度というものが今年度から始まった。今までは保育園は就労を支援するという側面が一番大きかったので、両親が共働きであって、保育に欠ける状況であると、11時間保育園でお預かりするというのを通常保育時間としていた。しかし、新制度になってから、両親の就労時間に応じて保育時間を認定させていただくという手続きが一つ増えた。それにより、今まで通り標準の11時間お預かりできる場合と、保育短時間ということで8時間を上限にお預かりする場合という、大きく分けてこの二つの区分になった。それに伴い、3時間のマイナス部分について、どうしても厳しい状態が生じるという家庭もあるかと思う。ただ、この新制度の第一義的目的が、親御さんが家庭でお子さんと接する時間をまず大事にしてほしいという点でもあるので、その部分を保育園でお預かりする部分と保育園以外の子育て支援サービス等を組み合わせた中で、親子の関係を一番ベストな状態に保つために、どう支援していくかということを考えているのがこの制度である。</p> <p>働き方も多種多様になってきているので、保育園も臨機応変にケースバイケースで対応する中で保育時間を認定し、延長保育も含めて対応していきたいと思っているところである。</p> |
| <p>委員</p> | <p>確かに、子どもは親にそばにいてほしいし、親も子どもの気持ちはわかっているが働かなければならないという現状が実際にはあるので、臨機応変に対応できるならば、ぜひよろしく願いしたい。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>(資料 5、事業 48【職場におけるハラスメント相談への対応】について)</p> <p>男女共同参画推進室では、職場の問題ということで産業カウンセラーをお願いして、月に2回、夕方の6時から8時までの時間帯で「仕事・職場の悩み専門相談」を行っている。平成26年度の相談件数は23件あり、内訳は、抑うつ状態で休職中の方が相談されたというケースが12件、職場の人間関係についての相談が8件、その他が3件であった。これらについては、会社内でのコミュニケーションの方法や、会社に相談機関があるかどうかなどといったアドバイスをさせていただき、必要に応じて専門機関を紹介するという対応をとっている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>資料 3 の実施状況の中にそうした細かい事も書いていただければ、あえて質問をしなくてもわかるので、具体的な記載をお願いしたい。</p> |

| | |
|----------------|--|
| <p>委員</p> | <p>ハラスメントに関連して、商工会でも職員のうつ病が増加してきた。今まではあまりなかったのだが、やはり転勤がつきもののため、新しい人が転入し、その人のことをまだあまり知らない段階から前任者と同じように扱ってしまうと、自分にはできないというような状況になり、徐々に仕事が溜まっていくようになるというケースが多々ある。そうならないためにも、やはり情報の共有が必要かと思う。</p> <p>心の病は病院に行ってもすぐには治らないわけで、そうするとやはり仕事に穴が開く。すると代替者が必要になるが簡単には見つからない、そうしたことが問題になっている。</p> |
| <p>委員</p> | <p>これからも一層、相談窓口の拡充、それからやはり、求められているのは企業や職場の現場であると思うので、そちらの方でも対策をとっていただく、あるいはその対策をとる支援をできないだろうかということが大切だと思う。</p> |
| <p>長寿はつらつ課</p> | <p>(資料 5、事業 57【高齢者虐待対策関係機関との連携】について)</p> <p>高齢者に対するDVの内容として、身体的暴力、暴言や外出の制限といった心理的暴力など、他の年代のDVと大きな違いはない。高齢者になってから発生しているのではなく、若い時からDVというケースもある。</p> <p>具体的な事例として、要介護状態になった妻の頭を夫が繰り返し叩いたり、「早くしろ」と怒鳴ることが日常的になっているケース。あるいは、ウィルなおかから連絡をいただいた事例で、関係機関と連絡をとりながら対応している事例もある。これらのDVについては高齢者虐待防止法があるので、その中のくくりとして対応しているわけだが、長寿はつらつ課、各支所、地域包括支援センター、あるいは民生委員など、いろいろな関係機関と連携しながら対応している。</p> <p>虐待防止という点ではかなり周知されていて、いろいろなところから私どもの方に連絡が入るし、本人あるいは警察からもくる。そういった中で事実確認や安全確認をした上で高齢者の保護と保護者支援両方を考えていかないとうまくいかないで、その辺を支援しながら適切な対応をしている。高齢者虐待も重大な人権侵害であるので、今後も関係機関と連携しながら対応していきたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>先ほどお話があったようにDVは子どもの虐待にもつながるし、高齢者の虐待は大きな問題だと思う。今お話をお聞きして、確かにいろいろな対応の</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>仕方があるのだが、例えば認知症の高齢者はこういう症状なんだということがわかるような講座などを実施すると、DVにつながるような状況から少しは理解が広がるのかなと思う。</p> <p>(資料 6、事業 9【政策方針決定過程への女性参画割合向上】について)</p> <p>長岡市は従来から官民・地域住民連携のもとで住民参加のまちづくりを進めている。その中で人材育成、人材発掘につなげてゆきたいと考えている。男女共同参画推進室の中にある男女平等推進センターウィルながおかでは、コミュニケーションスキルを磨くセミナーや、コーチングスキルを身につける講座など、市民の本来持っている生きる力を引き出すということで女性の力をつけるためのセミナーを提供している。こういったことが人材育成につながればと考えている。</p> <p>平成 26 年度に女性登用率が下がってしまった理由としては、長岡市の子育てに関わる、女性の参画が多かった二つの委員会が一つにまとまったために女性の委員数が減ってしまったり、防災分野や都市計画分野など比較的女性が苦手とする分野の委員会が新設、再開されたためである。これに対しては、全庁へ通知を出したり、毎年、女性委員の登用推進計画を各課に依頼し、委員の推薦の起案が回ってくるたびに個別の聞き取りをしており、女性登用率が 30%に満たないところについては随時改善のお願いをしている。</p> <p>これらのことを長年継続してきた結果、今年度 27 年 4 月 1 日現在の登用率は 30.8%ということで、初めて目標値の 30%を超えることができた。これまでの長年の取組の結果で、長岡市の農業委員や、法規審査委員などこれまで女性の参画が 0 だったところが、1 人ないし 2 人というように女性登用の動きが出ており、女性委員 0 の委員会が 26 年度は 11 だったものが 27 年度は 4 つにまで減少している。委員の人数についても、平成 26 年度から 27 年度に長岡市全体で 78 人の委員が増えたことに対して、71 人の女性委員が増えたことも市の取組として少し評価できると考えている。このことは 12 月号の市政だよりで公表する予定である。</p> |
| 委員 | <p>ここで成果が上がり始めたということで、今後とも継続をよろしくお願ひしたい。</p> |
| 農政課 | <p>(資料 6、事業 16【生き生き農らいふ支援事業】について)</p> <p>本事業は、平成 17 年度から始めた補助事業である。農産物を使った加工品や、直売所というものがだんだん盛り上がっていた中で、女性ならではの視点を取り入れた新たなアグリビジネスにチャレンジしていただこうというこ</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>とで、3戸以上の農家の女性が集まったグループに対して支援するものである。支援内容としては上限25万円で50%以内の補助率になっており、例えば、自分たちで作った野菜を使ってジャムを作りたいと思った時に、自分の家でジャムは作れるけれど、商品として販売するためのジャムの加工技術を学びに行くための旅費や、ジャムを作るための機材の購入、パッケージデザインのデザイン料など、そうしたものに補助をしている。</p> |
| <p>会長</p> | <p>具体的に聞かせていただき非常に嬉しい。それでは、一通りこれで口頭回答がすべて終わったので、委員の皆さんから一言ずつお願いしたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>可能であればという願いをいくつか寄せたいと思う。今、実施報告あるいは27年度の実施計画というのを事前にいただいて、目を通させていただいたが、その中で、ほぼ前年度を踏襲した形での実施計画となっているかと思う。例年継続事業の中で、もし改善点があるのであれば、前年に対してどこを改善したのか、また、もし新規事業であれば、その旨を記載していただくと非常に読みやすいと思う。それから、この審議会が開催される時点で既に今年度は数カ月経過しているわけなので、今年度の事業で既に着手しているものがこういう状況になっているということについても報告をいただくとありがたい。</p> |
| <p>委員</p> | <p>商工会もそうだが、企業の経営者という立場で、会社における様々な問題に直面することがあるわけだが、私の会社では、20歳くらいで子どもを連れて就職してきた者がいる。こちらも気かけながら、色々話を聞いているのだが、実家へ戻ってきているから非常に楽だけれども、これが母子二人きりで生活していたら大変だと本人は言っている。特にシングルマザーとして子育てしている人に対してのケアをもう少し強化していかなければならないと感じている。本人が折れてしまっただけでは何にもならないわけなので、そうした状況にある人たちをしっかりと支えていきたいと思う。</p> |
| <p>委員</p> | <p>男女共同参画はあらゆる分野に関わりがあるということで、たくさんの担当部署がこうして集まってくださっているわけだが、どうしても資料の記載が抽象的でどこがどのように改善されているのか見えにくい。部署によっては具体的に数字をあげているところもあるので、そうすると前年度との比較はしやすいので、最低限数字を挙げていただくとともに、例えばセミナーなどであれば必ず参加者の満足度調査を実施するべきである。イギリスでは、司法という最も堅くて市民目線の届きにくい分野においても、どの手続きを</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>してその結果どうであったかという満足度をパーセンテージで当たり前のように出している。であるので、是非自治体として検討していただければと思う。</p> <p>また、さまざまな分野の施策がいろいろな部署に渡っているので、できれば課ごとに今年が目玉をもうけてそれについてもう少し詳しくプレゼンしていただくなどしていただくと目に見えてわかりやすくなる。資料も分厚くなるし、用意だけでも時間を取られて大変だろうが、その辺りの改善をしていただければありがたい。</p> <p>それから残念な点がいくつかあって、昨年度の審議会の際に、事業 49「学校におけるセクシャルハラスメントの防止」事業に関して、抽象的な記載にとどまっていたので、男女共同参画・暴力防止の観点から具体的な施策をしていただきたいという旨を申し上げたのだが、今回の資料を見ると結局また同じ記載しかされていない。校長だけへの指導では足りない、通知を配るだけでは足りないというのは明らかだと思う。文科省が毎年統計を出しているが、児童・生徒に対する体罰、セクシャルハラスメントを理由とする懲戒処分例が相当数上がっている。そうであるにもかかわらず、このような抽象的な施策でとどまっているというのはおかしいのではないかと。</p> <p>それから、「セクシャルハラスメントを含む人権に関する教育」というのは、男女共同参画について何をしてくれたのか、セクシャルハラスメントについて何をしてくれたのかが全く見えない。</p> <p>昨年度も同じことを申し上げたはずだが、残念ながら今回も同じ記載にとどまっている。是非来年は本日の審議会の結果を踏まえた改善点を示していただきたい。</p> <p>資料 5-3 について、できればこれを経年変化がわかるようにまとめていただき、審議会において説明していただけるようお願いしたい。</p> <p>それから職場復帰のためのプログラムについて、特に専門職の方で医師や看護師の不足というのが言われているわけだが、そうした看護師免許をお持ちの方で休んでいらっしゃる方々に、復帰支援のためのプログラムのようなものができるように行政としても検討していただければと思う。</p> |
| 委員 | |
| 委員 | <p>私は学校を足場しているので、やはり意識啓発が大切だと思っている。そのターゲットは2つあって、新潟県には、女性が社会進出していることに抵抗感を持つ年配の方が未だ多いように感じる。それと女性自身の社会参画への意識。例えば教員で考えてみると、小学校は7割以上が女性教員である。管理職にならなかったとしても、教員である以上、社会参画は十分にしてい</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>と思う。ただし、県教育委員会は指標として女性管理職を3割と打ち出しているのでいつまで経っても指標を達成できないでいる。</p> <p>だが、管理職になる事がイコール女性が社会参画しているという指標なのだろうかいつも私は感じている。子育てをしながら担任を一生懸命務めている職員はたくさんいる。そういう意味で、それぞれの良さが光る、そういう社会ができればいいなと思っている。</p> <p>私たちが気を付けなければならない、ともう一つ感じていることが、「女性ならでは」とか「男性ならでは」という言葉が流れているうちはダメだなと。職員を見ても音楽が得意な男性はいる。家庭科が得意な男性もいる。それは個体差であって、性差ではないので、そういう言葉使いをもう少し気を付けなければいけないと思う。</p> |
| 委員 | <p>計画を見ると、あらゆる分野に雇用に関することが多くあり、何かしらに雇用が結びつくことが多いということが分かった。雇用分野に所属しているので、所属に戻ったら市の関係機関と協働させていただきながら男女共同参画を意識して事業展開・協力していければと考えている次第である。</p> <p>日頃、子育て中のお母さん方が仕事を探しに来られ、支援体制もできているので、そういう方たちが一日も早く就職できるように協力していければなと思う。本日の議論を聞いて、所属に戻ってからの意識が高まった。</p> |
| 委員 | <p>農業関係の方で、5、6年前から長岡にはなぜ女性の農業委員がないのだという声が上がっていた。今年ある人から、経営管理委員になったのだから力を入れて頑張れ、女性の農業委員を出してくれと言われたので会長に相談し、なんとか女性委員を出すことができた。きっとこれから頑張ってくださいと思う。</p> <p>それからもう一点。保育の関係で、確か去年の10月頃だったと思うが、近所の方が27年度の保育の受付があるとのことで、朝5時半に起きて並んだのだそうだが、それでも申込は16番目だったとのこと。1番目の人に聞いたら3時半から並んだそう。私たちの頃はそのようなことはなかったのだが、問題かなと思う。</p> |
| 委員 | <p>「ブックスタート事業」について、これはすごく良いことで、親子関係においてもこうして絵本を通じて会話をしたりすることはとても大切なことなので継続していただきたい。そして私が今新たに考えているのが、家に眠っている使わなくなった絵本を、親子で次の世代のもう少し年下の子どもたちに手渡しするというような形、つまり「ブックリレー」のような形で実施し</p> |

| | |
|-----------|--|
| <p>委員</p> | <p>てもらえると良いと思う。もちろん本は傷んでいるかもしれないが、たくさん本を大量に持ってきてただ置いていくのではなく、一冊でもいいので親子で持ってきて別の親子に手渡しするという取組を、ブックスタート事業にプラスしてみたいだろうか。</p> <p>私は市P連会長という立場で参加しているので、その視点でいろいろと考えさせていただいた。PTA活動を通じて先生方との接触が多いのだが、先ほどのお話にもあったが、教育現場というのは女性の先生が大勢いらして、決して男女の先生の差というものを感じることはないし、子どもたちが尊敬している先生方も大勢いる。だが言われてみると、校長や教頭など管理職になるとなぜかほとんど男性しかおらず、8年間のPTA活動を振り返ってみても何か変化はあったのだろうかという疑問に思う。</p> <p>一方、子どもたちを見ていると、ここ数年は応援団長のうち半分は間違いなく女子ということがある。それから生徒会長など、中学生の段階だと男子よりも間違いなく女子のほうがリーダーシップや行動力、発言力などのある子が大勢いて、そうした状況を見ていると、社会システム的には長い時間がかかっているのかもしれないが、これから10年、15年後にこういう子どもたちが社会に出ていった時には、日本の社会も大きく変わっているのかなとも感じている。</p> <p>一足飛びに何か大きな機構改革をしようとする、何か軋轢があるのだろうかから、毎年毎年積み上げていっていただければと思う。今回指摘された事に対して行政側には真摯に受け止めていただき、時間がかかっても毎年毎年少しずつ改善していくという形で努力を示してもらいたいと思う。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今回、26年度の実施状況と27年度の実施計画について議論してきたが、今年度の事業はもう半分動いているので、この場で出た意見というのは次の28年度に反映されることになるのかなと思っているが、是非とも改善されたところは改善されたと記載すべきだと思う。今回農業委員に女性が一人出られたということは資料には書かれていなかったが、本当であれば記載すべきだったと思う。ということで、取組内容は具体的に書き込んでいただくようお願いしたい。</p> |
| <p>会長</p> | <p>委員の皆さんから、さまざまな御指摘をいただき感謝申し上げます。実施したことは具体的に内容や数値を挙げていただければ議論がしやすいし、どのくらい進捗しているのかよく分かるようになると思うのでよろしくお願ひしたい。</p> |

| | |
|--------------|---|
| 事務局 | <p>(3) その他</p> <p>・男女共同参画に関する市民意識調査について・・・事務局説明(資料 7)</p> <p>5 閉 会</p> <p>本日は貴重な意見をいただき、本当に感謝申し上げます。いただいた意見を踏まえて改善をしながら着実に計画を進めていきたい。また、来年度は計画見直しの年にあたるため、その際は改めて皆さまのご協力をお願いいたします。</p> <p>以上で男女共同参画審議会を終了します。</p> |
| 8 (出席委員の署名欄) | (略) |
| 9 会議資料 | 別添のとおり |